

行〇ぜ、東北。(そのまま使っても良かったのか?)

中三 本田 智也

前書き

夏休み前、古典の授業で松尾芭蕉の「奥の細道」に触れた際、立石寺の事が出てきた。そして、2年前の先輩の東北旅行を参考に、友人と3人で東北に行くことにした。

1日目

上野集合 7:40

上野	7:57	*****	宇都宮	9:27	(東北本線 快速ラビット 宇都宮行き)
宇都宮	9:34	*****	黒磯	10:25	(東北本線 普通 黒磯行き)
黒磯	10:33	*****	郡山	11:37	(東北本線 普通 郡山行き)

という事で上野に 7:40 に待ち合わせしたものの、当日まで誰かが寝坊したりしたらどうしようとかかなり心配したが無事その 20 分前に集まって、余裕で撮影をすることができた。

上野駅 14 番線にて撮影



列車が上野に着いた時、折り返し列車のため、たくさんの方が降りたのだが、その人の量に正直驚いた。そんなこんなで列車の後ろから2両目あたりに乗って、ボックス席をとり、宇都宮まで行くと、黒磯行きはとても前の方に5両で止まっていたため、ものすごく歩いたうえ、同じ列車に乗っていたであろう人たちに席をとられてしまい、しばらく座れなかった。

E231 快速ラビット 宇都宮行き



に到着して



211系 普通 黒磯行き

そして



にて

↑黒磯です (念のため)



719系 普通 郡山行き

郡山で飯を買って

郡山	11:56	*****	福島	12:43	(東北本線 普通 福島行き)
福島	13:00	*****	仙台	14:13	(東北本線 快速仙台シティラビット)

郡山で3人とも駅弁の「牛めし」を買って列車に乗り、一口食べて、「うまっ！」



その牛めし (撮る前にひもを取ってしまった)

普通 福島行き (郡山行きとは違う)



ひも付き (友人の駅弁)

中身です。うまそー

そして福島に着いて驚いたことは、乗っていた福島行きがそのまま仙台行きになったことである。同じ列車に乗っていたおじさんが教えてくれたが、折り返す訳でもなく、普通に同じ方向に行くので不思議に思った。時刻表にもこれは別列車であるような書き方をしていたので何故だろうかと思いながらそのまま仙台行きに乗った。

ここまで私を含め一緒に旅をした3人について全く書いていなかったので触れると

- *私(本田)・・・はじめは鉄研旅行で寝過ごしたり落とし物をしたりとトラブルばかり引き起こしていたが、最近は少ないかな、うん。ああ恥ずかしい。最寄り駅は青い電車と3両の黄色い電車が止まる駅。南武線でも総武線でもない。
- *奥野・・・性格はいいが、対戦ゲームをするととたんにSになる。最寄り駅は新宿と小田原を結ぶ私鉄のどこかの駅。
- *吉川・・・仙石線が大好きで最寄り駅は横浜から某私鉄に乗り換えたところのどこかの駅。ちなみに京急でも東急でもない。

という感じの3人で旅をしているので、基本けんかもおこらず、平和だ。

ちなみに私はボカロがオタク並みに大好きです。オタクかな？

というわけで旅行記に戻ると、

仙台	14:44	*****	山寺	15:44	(仙山線	普通	山形行き)
立石寺観光							
山寺	17:59	*****	仙台	18:59	(仙山線	快速	仙台行き)
夕食・そしてホテルへ							

そしてこの旅行の目的のひとつめ、立石寺である。古典の教科書に出てきて、「じゃあ夏休みにでも行くか」と思ってこの旅行案を作ったのだが、「立石寺なら前に家族で行ったことあるよ」と母親に言われた。しかし自分は全く覚えていなかったので行くことにした。



山寺駅



立石寺入口のあたり

階段は撮り忘れたが、撮っておけばよかったと後で後悔した。階段の途中、ところどころに看板があって、あと何段ぐらい上げればいいのか書いてあるのだが、看板ほど段数は多くないような気がした。階段を登る途中、早速吉川がダウンして、その後も、「本田ペース速い」と何度も言われた気がする。とにかく登りきって奥の院というところから景色を見ると

ええ—————

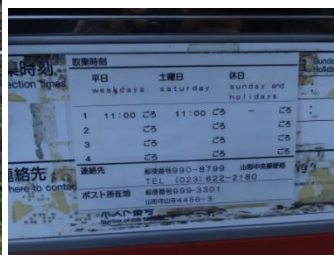
意外にも景色はあまり良くなかった。(実際に行くと本当に景色が見える範囲がせまい)



いや、いいのかもしれないが、なんていうか・・・全然予想したのと違ってしたのである。しょうがないので奥の院をいろいろ見ていて、おみくじをとにかく引きたくなった。といっても、小さい頃は本当に大吉しか出なかったのに、今では凶ばかりでている。それでも引きたいものは引きたいので3人で引くと、私と奥野は小吉、しかも同じ番号だった。お金を払って箱のなかからすきなものを取るタイプだったのでこれはすごいことだと思った。吉川は・・・末吉だった。「末吉ってどんぐらい上だっけ」「多分下から二番目だよ」「……………」というやりとりをしている間、住職さんらしき人がひそひそ笑っていた。今では小吉でも自分の中では上のほうなので、財布にしまって持って帰った。奥の院の少し下にお土産屋のようなお店がありそこでストラップのようなものを買った。奥野は耳かきを買った。「うちの耳かき壊れちゃったんだよね」・・・お前んちの耳かきは機械なのか？と突っ込みたかったが、やめておいた。耳かきは棒なのだから壊れるとは思わないと思ったからである。またそばには何とポストがあつて、しかも日曜以外はちゃんと回収があつて驚いた。ごくろうさまです。



ポスト



ごくろうさまです！

そして教科書に載っていたと思われる場所の写真が

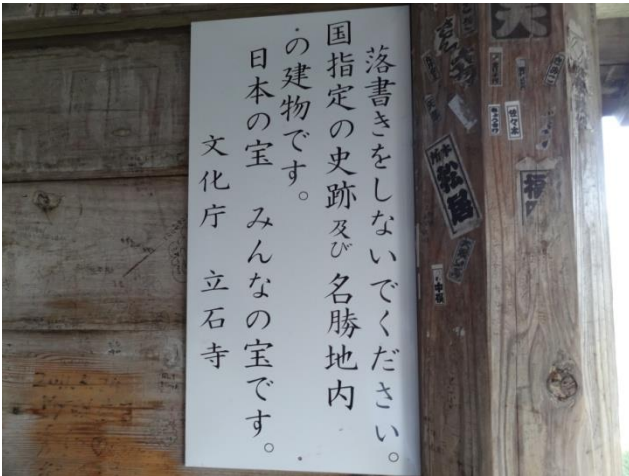


その近くにかにもいい景色が見られそうな建物があったので、写真真ん中の少し右の階段を登ると（この写真でその建物は見えません）



思っていた通りとても良い景色だった。そう、こういうの見たかったんだよ。

その建物は



こんなプレートを貼らなければならない位



シールのようなものが沢山貼ってあって、さすがに不快になった。で中には



何とトランプまでであるという始末。
一体何故トランプがあるんだ？

余談だが、2000年にハートマークが描かれたと書いてあるのだが、もし当時この人たちが20歳だったとしても今はもう30代か、と考えると年月とは実に残酷なものだと思った。

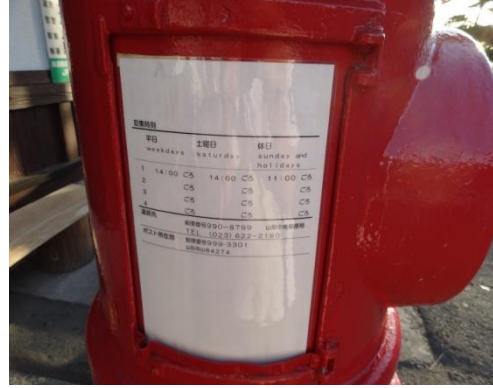
歳はとりたくないなあ。

ちなみに登ってみると分かるのだが、奥の院の所には人が住んでいるのか電線があって、それが見事に景色の邪魔をしていて、友人と電線への文句を言い合った。

そして立石寺を降りるときはあつという間に下までたどりついて、列車発車の 30 分前位には駅から徒歩 3 分位の所にいた。そこにアイスの自販機があったので、アイスを買って時間をつぶし、駅に戻ると、初め駅に来た時には気づかなかったものが結構あって驚いた。一つだけ例を挙げると



昔の型のポスト



しかも毎日回収あり

他はぜひ自分で行って見つけてみて下さい。また山寺駅ではなぜか駅員が面倒くさがって、自分たちの青春 18 きっぷをほとんど見ずに改札を通してしまった。駅に来た時もそうだったが行きは一応上野から全く改札を出ていないので、もしきっぷを持っていないければいったい何円分の不正乗車になるのだろうとついつい変な事を考えてしまった。

そしてまた仙山線に乗って仙台に戻ったのだが仙山線の写真は少し後のページを見ていただきたい。そして仙台駅に無事戻り、この旅行の二つ目の目的、牛タンを食べるのである。とはいったものの仙台駅の「牛タン通り」の店のどれかにしようということしか決めていなかったもので、比較的空いていてかつ美味しそうなお店がいいなという「平凡的」な考えで店を探していたが、自分の希望は特になかったため、友人にどの店がいいか聞くと、「善治郎」がいいと言ったのでそこにすることにした。だが、店は少し並んでいて、ホテルには 20:00 にチェックインすると言っていたため少し不安があった。しかし、とにかく自分たちが店に入り、私は「上中タン定食」、吉川は「牛タン重」、奥野は「善次郎定食」を選んだ。しかし、初め「上中タン定食」はメニューに 20 食限定と書かれており、ひょっとしたらもうないのではないかと心配していたが、頼んでみたらまだあったので、ほっとした。しかし、その後も何人も上中タン定食を頼んでいて、全部それが通っていたので、「ああ、完全にぼったくられたな」と思っていた。そして注文したものが来た時、それは私の予想を完全に裏切った。

肉が思ったより厚く、それでいて食べてみるととても柔らかかった。これは写真では分からないので是非実際に行ってみていただきたい。とりあえず、ホテルにはちょうど 20:00 位に着き、ホテルではパソコン（ロビーにある誰でも使うことのできるもの）でボカロを聞いたり、部屋で 3 人が持ってきたゲームなどをしたりして過ごした。

やがて眠りにつき、朝になったのだが・・・

「吉川寝相悪！」写真撮っておけばよかった。ちっ。

そして本来起きる予定の時間だった 6:30 になり、セットしておいたモーニングコールが鳴った。

しかし吉川は起きない(笑)。しょうがないのでゆすって起こし、奥野も起きているか確認しに行くと、(奥野は一人だけ別室) 奥野はちゃんと起きていて、ひとまずほっとした。そしてロビーで無料朝食をとり、ホテルをでた。そして仙台駅でお土産を買い、旅行再開である。

2 日目

仙台	7:34	*****	あおば通	7:37	(仙石線	普通	あおば通り行き)
あおば通	7:44	*****	西塩釜	8:12	(仙石線	普通	東塩釜行き)
徒歩で移動							
塩釜	8:47	*****	小牛田	9:16	(東北本線	普通	小牛田行き)
小牛田	9:27	*****	上涌谷	9:32	(石巻線	普通	浦宿行き)
上涌谷	9:40	*****	小牛田	9:44	(石巻線	普通	小牛田行き)
小牛田	9:50	*****	一ノ関	10:36	(東北本線	普通	一ノ関行き)
昼食							
一ノ関	11:36	*****	平泉	11:45	(東北本線	普通	盛岡行き)
中尊寺・金色堂見学							

という訳で一度終点のあおば通まで行ってから西塩釜に向かったのだが、本来の予定ではもっと遅く仙台を出発する予定だったので、大丈夫かと思ったが、この少し早めに仙台を出たということによってトラブルを回避することができた。早く行こうと言ったのは吉川で、本来行く予定のなかったあおば通に行こうと言ったのも吉川だった。そしてそれに従ったおかげで席にも余裕で座ることができ、西塩釜でのトラブルも無事に切り抜けることができた。

ではそのトラブルとは何であったのかというと、「仙石線西塩釜駅から東北本線塩釜駅への地図を印刷するのを忘れてしまった」のである。それ以外のところの地図はちゃんと印刷してあったのだが、何故かそれだけ印刷するのを忘れていたのである。仕方がないので、西塩釜駅の駅員に行き方を聞いたのだが、駅員は行き方を知らず、こっちに行けという標識はあるものの、地図がどこにもないため、ものすごくあいまいなのである。とりあえず、通りかかった人に道を聞くと、とても親切に教えてくれた。道を教えてくれた方、ありがとうございます。



仙石線 205 系 (あおば通にて撮影)



「西」が付いているか付いていないかというだけなのに、ずいぶん歩いた気がした。

そしてなんとかたどり着いた塩釜駅には



停車場は白黒印刷のため見えづらいが、手紙を入れる2つの口が「宮城県内宛て」か「その他の地域宛て」によって分かれているのだ。自分は「普通郵便」と「はがき」の分け方しか見たことがなかったのでおもしろいと思った。なんでポストについて二回も書いているんだろ。

そして小牛田に着き、時間の都合上石巻線を一駅だけ往復した。その石巻線では、「マンガッタンライナー」という、外装に石ノ森章太郎の漫画のキャラクターが描かれている列車に乗った。が、描かれているキャラクターの名前が3人とも分からなかった。

とりあえず写真は撮ったものの



小牛田にて

初め見た時、「ウルトラマンか?」と思った。石ノ森章太郎のファンの方、ごめんなさい。

そして再び東北本線で、平泉を目指す。ちなみに車内の広告も全部石ノ森章太郎の絵などである。

その列車にて



駅文庫?→



なるほど。図書館か?



落ち着く景色



愛用の飲み物 (水) とともに

今回 10 本位ペットボトルを空けたと思う。それはともかく平泉のすぐ手前の一ノ関で、乗っていた列車は終点になった。ここから接続が悪く、小牛田でもそうだったが 1 時間後まで列車がない。私以外の 2 人は「歩いた方が早く着くんじゃね」と言っていたが、迷子になっても困る上に、私には体力がない (泣)。なので「今のうちに飯を食べておこう」とうまくはぐらかし、飯にすることにした。駅構内によくある立ち食いの店があり、そこで食べることにした。そこには「学生ラーメン」というのがあり、それがとても安かった。しかし注文するには学生証の呈示が条件だったのだが、吉川しか学生証を持っていなかった。

案の定、おばちゃんに「学生証を持ってなきゃだめ」と言われ (実は冗談だったらしいのだが)、そしてこの時、ホームがうるさく、おばちゃんの声がよく聞こえなかったことがそれをさらに冗談と感じさせなかった。しかし最後はおばちゃんが折れる形でなんとかラーメンにありつけた。食い終わっておばちゃんにお礼を言って、再び東北本線に乗った。

ドラ〇エっていいよな、魔物倒せば勝手に体力も金も・・・魅力も増えるんだもん (泣)

さて、平泉に着いたぞ。

しかし、平泉駅と中尊寺は、実は結構距離があり、さらに金色堂まで行こうとすると、かなり遠いのだ。(あくまで私の体力でだが) といっても、2 キロはあると地図で分かっていたので、当初駅からタクシーを使う予定だった (タクシーというと「なんて贅沢な」と思う方もい

るかもしれないが、3人で割るので、1人当たり300円程度で済んだ。)が、駅にはレンタサイクルがあり、そこで自転車を借りて行こうということに変えたのだが、吉川が駅で「他の人が行ってからゆっくり行こうよ」となかなか改札を出ず、そのためか自転車はほぼ全部借りられてしまったにも関わらず、まだ長い列ができていた。これが万が一みんなタクシーの方に来たら大変だと思い、早々に当初の予定だったタクシーに戻し、(バスもあったが、朝ラッシュの満員のバス並みに混んでいた)運転手が金色堂の所まで行ってくれたため(後でそのありがたさがとてもよく分かった)、金色堂にすぐにたどりつけた。

ところが、である。金色堂は宝物館の中にあり、そこの中では写真撮影が禁止なのである。もうお分かりだろう。中尊寺の写真は本殿以外撮っていないのである。本当は他の小さな建物は撮れるのだが、罰が当たると怖いので、どうしても撮れなかった。という訳で、



本殿にて



やはり金色堂のある宝物館より、人は圧倒的に少なかった。

そして駅に戻るのだが、ここでタクシーの運転手さんのありがたさが分かったのである。そう、ものすごい坂だったのである。下りでも急すぎてつらかったが、これが登りだったらと考えるとぞっとした。とにかく下までたどり着いたのだが、今度はタクシーが一台もない。するとまた私以外の二人が「歩こう、歩こう」としきりに言うてくる。するとありがたいことにタクシーがベストのタイミングで来てくれた。しかも今度は山の下から乗ったので、一人 240 円位で済んだ。

東京だったら往路も同じくらいの値段で済んだのかもしれないが、あいにく、こちらは初乗り 1 キロ 500 円から加算していくシステムだったので、少し高くついた気がした。しかしさすがはタクシー。乗る予定の列車の発車 30 分前位に駅に到着し、予定の 1 本前の列車に乗る事ができた。さあ、そろそろ旅行の終わりが近づいてきた。

平泉から

平泉	13:11	*****	一ノ関	13:20	(東北本線	普通	一ノ関行き)
一ノ関	13:54	*****	仙台	15:37	(東北本線	普通	仙台行き)
仙台	15:45	*****	山形	16:55	(仙山線	普通	山形行き)
自由行動 (夕飯の購入)							
山形	17:33	*****	米沢	18:18	(奥羽本線	普通	米沢行き)
米沢	18:29	*****	新潟	21:20	(米坂線	快速	べにばな 新潟行き)
新潟	23:38	*****	新宿	5:10	(快速ムーンライトえちご		新宿行き)
おしまい							

という訳で再び仙台まで東北本線で戻り、おまちかねの？仙山線である。



E721 快速 山形行き

列車の中は東北本線の車両よりも新しく、209 系のように LED 表示があり、自動アナウンスで英語まで流れた。

ボックス席がとれず、2 人用の席しか取れなかったため私は立ち、奥野と吉川が座った。すると吉川が寝てしまった。一回起こしたがまたすぐ寝てしまったので奥野とひそひそ笑い合った。そして、仙山線は山形の少し手前の羽前千歳駅で、奥羽本線 (山形線) と合流する。山形までは 2 駅しかないが、ひょっとしたら新幹線を見られるのではないかと淡い期待を自分が出している間、吉川は爆睡していた (笑)。結局新幹線は見られず、列車は山形に到着した。

そしてここで夕食を買わなければならない。ひとまず改札の方に向かうと、キオスクの近くにおばあさんのやっている駅弁屋があった。そこでどれを買うか悩んでいると、そのおばあさん

が熱烈に牛めしを推してきた。さあどうする。「この旅行で既に一度牛めしを食べている」ということをおばあちゃんに言うと、おばあちゃんに「これが本家本元の牛めしだよ」とすすめられ、結局牛めしにしてしまった。他の二人は別の弁当を買った。それもそうだ。昨日の昼は牛めし、夜は牛タンである。自分だって正直もうあまり肉を食べたくなかった。しかし「本家」



というのに惹かれて、結局 2 回目の牛めしとなった。

学習せずまた写真を撮る前にひもを取ってしまった。で中身はというと、この絵とは全く異なり、1 日目の牛飯と味はほとんど変わらなかった。

中身の写真は撮り忘れしました。すいません。

その「本家本元」の牛めしの「箱」
またこの牛めしの写真を撮った列車が



そう、これが前ページにある米沢～新潟間の約 3 時間を共に過ごした列車である。この車両は八高線（八王子～高崎）でも使われており、普段は全然乗らないのだが、どこか馴染みがあった。そして 3 時間、私はたしか日が暮れるまでは景色を見て、日が暮れて夜になったら・・・何してたんだっけ・・・？

キハ 110 系 200 番台 新潟にて撮影
そして新潟に着いて、適当に新潟駅をうろちょろしていると



そして列車で寝てすっかり元気になった吉川が「駅の外に出たい」と言いだしたが、今は夜の九時半。私は夜の屋外は色々あったため嫌いだ。そうでなくても普通の保護者なら危ないから駅にいるというはずだ（そもそもこんな旅行をしないか）

ライバル発見！www

とりあえずムーンライトが来るまで別の列車で行ける所まで行って戻ってくることにした。そうして色々考えた結果、越後線の青山駅まで行って戻ってくることにした。青山駅に着くと私たちと一緒に結構な数の人が降りた。それもそうだ。列車からは沢山の一軒家やマンションが見えた。ここの近くに住んでいる人も多いのだろう。



沢山の降りて行く人たちを見送った後、改札の近くに行くと、駅員はいなかった。窓口は 18:30 までしかやっていなかった。私たちは 18 きっぷなので少し困ったが、結局改札は出ず、そのまま折り返した。もし何か言われたら 18 きっぷを見せれば大丈夫だろうと踏んでのことである。ちなみに越後線は単線で青山駅もホームは一つしかなかった。

そして新潟まで戻ってきて、いよいよ旅の終わりが近づいてきたことを思い知った。この旅の最後の列車、ムーンライトえちごである。



ムーンライトシリーズは全部で 3 種あり、東京から東海道本線をひたすら西に向かい大垣へ行く「ながら」、新宿から中央本線を通り白馬へ行く「信州」そして同じく新宿から高崎線、上越線を通り新潟へ行く「えちご」がある。

ちなみに「えちご」はムーンライトシリーズの中で唯一減光する。(ながら、信州は 183 系の為)

485 系 ムーンライトえちご 新宿行き

今回はえちごに乗って新宿に帰る。最初はゲームをしていたのだが、だんだん眠くなって結局寝てしまった。

しかし、さすがムーンライト。揺れて全然寝られない (笑)。とはいえ 2 時間位は寝ていたらしく、その時は大体 4 時だった。新宿に着くまではあと 1 時間位あるので、また寝た。すると今度は程よく新宿の近くで起きた。「そろそろ降りる準備をしろ」と 2 人を起こし (その時にはもう起きていたっけ)、列車は無事終点新宿に到着した。そしてここから某私鉄に乗る奥野とはここでお別れ。そして私と吉川は



吉川に乗って品川でお別れ。(きっぷの都合上)

そして私はそこから水色の電車に乗って家へと帰った。

「ただいま」

あとがき

下手な長文にお付き合いいただきありがとうございました。中三になって初めてこの駐車場を書かせていただきました。それはともかく、震災後、初めて行った東北でしたが、ととにぎやかで、震災の事を全く感じさせられませんでした。2日目に乗った仙石線は、高城町と陸前小野の間は震災の影響で止まっており、それでもものすごく多くの人々が仙石線を利用していました。立石寺や中尊寺にも、とても多くの方が観光に来ていました。皆さんもぜひ列車を使って旅をしてみてください。ボックス席に座って窓から景色を眺めながらおいしい駅弁を頬張る、たまりませんよ。

今度は東北の西側、秋田の方に行って、「男鹿線」(男鹿なまはげライン) というのに乗ってみたいなと思っています。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



ちなみにこのお土産は先生用です (自分へのは忘れた。泣)